

学校だより

目標達成

五年一組 原 志織



小学校の運動会が九月二十八日にありました。その中で、特に印象に残ったことが二つあります。

一つめはリレーです。私は今年初めてリレーの選手になったので、一年生がスタートした時から胸がとてもドキドキして、少しも治まりませんでした。四年生にバトンがわたった時、私達のチームは四位でした。でも、四年生が三位との差を二mにちぢめてくれました。私はバトンを受け取ってから「絶対ぬかしてやるぞ。」という気持ちで、思いっ切りうでや足を動かしました。そして、赤チームの人をぬかして三位で六年生にバトンをわたしました。しかし、最後にぬかされて四位になってしまいました。四位だったけど、初めてリレー選手になり、最後までがんばったので、うれしい気持ちでいっぱいでした。

二つめは組体操です。「感動しよう、感動させよう」という組体操の目標に向かって毎日練習しました。そして、本番をむかえました。途中で、上の人を支えるうでがふるえてきました。練習ではそんなことがなかったのに「自分がつぶれると、みんなもつぶれちゃう。」とあせりました。でも、こらえて技を完成させることができました。最

後まで失敗することなく演技を終え、

「今までで一番いい組体操になった。」と心の中でつぶやきました。また、技が決まった時に、「おー」「すーい。」という声や拍手がたくさん聞こえ、目標が達成できたので、うれしかったです。

他にも、騎馬戦や係の仕事などの目標も達成でき、思いに残る運動会になりました。



清明祭を終えて

三年 串原 賢



今年の清明祭のテーマは「Progress」皆で新たな一歩を〜でした。私は、この清明祭に男子副会長として積極的に関わり、取り組んできました。そして、本当にあつという間にこの二日間が終わってしまいました。しかし、そのあつという間のために、私たちは、とても入念な計画と準備をしてきました。私の任された担当は、会場係、日程係と開閉祭式のセレモニーの係でした。

まず、一学期には、清明祭を実行するための日程や計画をたてるという仕事が始まりました。昨年度のデータが

手違いで消えてしまったので、プリントの計画案を見ながら、一から作っていききました。昨年度と変更する点も多くあり、とても大変な仕事でした。また、この実施計画案作りと並行して、緑化委員長と協力し、セレモニーの台本作りも進めていきました。日程と計画案などが、一学期中に決まりました。二学期に入ってから、特にセレモニーの練習が大変でした。清明祭の一週間前になって、いろいろな問題点が出て、大幅な変更が必要になってしまいました。けれど、生徒会顧問の先生に助けていただき、出演者が一丸となって何度も考え、修正を加えて猛練習を重ねていきました。

他の係では、特に実行委員企画の準備も大変でした。私は、セレモニーの修正と練習で手が離せず、それにはあまり関わることができませんでしたが、生徒会役員、実行委員が頑張つて取り組み、清明祭に間に合わせることができました。

そして、とうとう前日準備の日がやってきました。各委員長と委員が協力して展示などを行い、全会員のお陰で、無事に当日を迎えることができました。

当日、私の初めの言葉から清明祭が始まり、すぐに開閉式のセレモニーの番になりました。私の頭には、頑張つて作り用意してきた映像と、一生懸命に考えたセレモニーでみんなが笑ってくれるかの二つだけがありました。しかし、その時の記憶はあまりありません。それほど緊張していたのだと思います。みんなも

喜んでくれ、上手いきき、ほっとしました。一日目は、次に意見文発表がありました。私は、一年生の意見文がとても心に残りました。続いてからみ発表。各学年が総合的な学習の時間に取り組んだ内容をわかりやすく、しっかりと発表しました。午後の歌舞伎公演は、少ない人数でしたが、三年生の演技力がとても光っていました。

二日目は、音楽会から始まりました。どのクラスもよく練習してあり、歌声交換会よりもさらに上達した、素晴らしい合唱でした。次の吹奏楽部の発表もソリストや指揮などさすが三年生だなと思う姿がたくさん見られ、全校で楽しみました。次の実行委員企画、体育祭も、大いに盛り上がり、二日間のどれをとつても大切な思い出の一つになりました。いよいよ最後の閉祭式のセレモニーです。これも、前日いや、その直前までいろいろと手直しをしたものでした。私たちの劇の中でエンドロール（スタツフロール）が流れた時、会場から拍手が起き、とても充実感と達成感がありました。

私たち三年生で作上げた清明祭は、あつという間に終わっていききましたが、この二日間の一つ一つが、私たちにとてもかけがえのない思い出であり、今後の人生における糧となりました。この文章に書き表せないほどのたくさんの感動を、私は忘れることがないと思います。同時に、私たちに付いてきてくれ、清明祭を盛り上げてくれた全校のみんなに、感謝の気持ちで一杯です。